

「症状」でわかる病気 No.8

「みぞおち」or「腹部全体」の痛み

大上正裕・慶応義塾大学病院消化器外科医師

病気予防は、第一に日常の健康管理、次いで「丹羽SOD様食品」

健康の管理には、病気に関する知識が欠かせません。本シリーズでは、さまざまな症状と病気との関連を掲載し、読者の方が適切な治療の機会を逸することなく、早期の精密検査をするための資料を提供いたします。なお、本シリーズは、日刊スポーツ新聞社の「健康連載（医学ジャーナリスト・松井宏夫著）」から主に引用いたしました。

また、食生活や運動などの健康管理だけでは、さまざまな病気を予防できないことも事実です。そこで、病気の90%に関係するといわれる活性酸素対策に、「丹羽SOD様食品」を摂取するの一方策です。

日本SOD研究会がおとどけする
健康増進と病気・老化予防のQ&A

No. 32



みぞおちが痛む場合に、最も多いのが胃炎、胃・十二指腸潰瘍。

「確かにそうですが、そのほかに胆石症のケースも多いんです。一概に思い込まないようにしてほしいですね」と言うのは、慶応義塾大学病院（東京・新宿区）消化器外科の大上正裕医師（43）。

Q: 「みぞおち」が痛む病気について説明をしてください。

A: 「胆石症」 「胆嚢（たんのう）は右横腹にあるので、その周辺の痛みと想っている人が多いんです。しかし、実際に胆石の手術をした人の訴えを聞くと、みぞおちの痛みを訴えた人の方が多いいんです。」

このQ&Aは、病気の90%に関係するといわれる活性酸素、活性酸素を除去する丹羽SOD様食品など、さまざまな症状や疾患について、最新の情報を掲載しています。定期的に発行されますので、毎号お集めになりますと、健康管理ノートができます。このQ&Aは、最寄りの丹羽SOD様食品取扱店でお求めになれます。

これは、これまでに二千例以上も胆石を手術してきた体験に基づく意見である。

「全く症状がない」という胆石症の人もいる。そういう人も、実際には炎症が広がっていたり、癒着していることが多い。

目次
「みぞおち」が痛む病気は？
食事と痛みとの関係は？
「腹部全体が痛む病気は？」
用語の解説
胆石の治療
腸閉塞

「私は、全く症状がないという患者さんの答えはあまり信用しません。そういう患者さんに、胃薬を飲んでみますか?と聞きますと、飲んでおられる方も多いのです。胃がもたれたりするので、と本人は胃が悪いと思いついてるのです。しかし、胃の内視鏡やX線では問題がない。結果、この方も胆石がありました。本人は胃と想っていても、それが立派に胆石の症状になっていることもあります。」

「油物を消化するために胆嚢が収縮し、胆嚢に貯蔵されていた胆汁が絞り出されます。そのとき、胆石があると石が胆嚢を刺激して痙攣(けいれん)痛が起きますのです。」

「痙攣痛は1〜2時間くらいで治まる発作的痛みであることが多い。この発作痛に吐き気を伴うこともある。」

「胆石の激しい痛みは心筋梗塞、尿管結石とともに三大激痛といわれています。いわゆるきりでもむような疝痛(せんつう)です。」もちろん、シクシクといった痛みの場合もある。

胃痛

慢性胃炎

「みぞおちの鈍痛、胃部不快感、

食欲不振から胃痛が発見されることもありますし、慢性膵(すい)炎というケースもあります。」

◎：食事と痛みとの関係について説明をしてください。

みぞおちの痛み

みぞおちが痛む場合、最も多いのが胃炎、胃、十二指腸潰瘍(じふにさつえん)痛(いたみ)ですが、そのほか胆石症のケースも多いです。一層強い痛みを伴う場合は、胆嚢炎(たんのえん)や胆管炎(たんぱんえん)を疑う必要があります。胆石は、胆嚢に貯蔵された胆汁が絞り出される時に、その硬い部分が胆嚢の壁を刺激して痛みを生じます。また、胆石が胆管を詰まらせると、胆汁が逆流し、胆管炎や胆嚢炎を引き起こすことがあります。この場合、右上腹部に激しい痛みが生じ、嘔吐や発熱を伴うことがあります。

胃痛と勘違いしやすい胆石症

胆石症は、胆嚢に胆汁が貯蔵される際に、その硬い部分が胆嚢の壁を刺激して痛みを生じます。また、胆石が胆管を詰まらせると、胆汁が逆流し、胆管炎や胆嚢炎を引き起こすことがあります。この場合、右上腹部に激しい痛みが生じ、嘔吐や発熱を伴うことがあります。

症状とわかる

胆石は、胆嚢に胆汁が貯蔵される際に、その硬い部分が胆嚢の壁を刺激して痛みを生じます。また、胆石が胆管を詰まらせると、胆汁が逆流し、胆管炎や胆嚢炎を引き起こすことがあります。この場合、右上腹部に激しい痛みが生じ、嘔吐や発熱を伴うことがあります。

A: 加えて、問診では食事と痛みとの関係も重要視される。

胆石症

胆石はてんぶらやフライ、中華料理など油物を食べた後にケイレン痛がくることが多いのが特徴。

十二指腸潰瘍

十二指腸潰瘍は食事と食事の間、空腹時痛みが多い。

胃炎

胃炎や胃潰瘍は胃が重い感じが続き、胸やけや食後の腹痛が多い

Q: 腹部全体にわたって痛みを発する場合にはどのような病気が考えられますか?

A:

腸閉塞

「腹部全体にわたって激痛が、それも急激に襲う場合は、医師が考える代表的な病気は腸閉塞(へいそく)です」と、太田副部長は、まず腸閉塞を挙げた。腸管が何らかの原因で詰まってしまう病気で、物が肛門に向かって通らないため、腹部はどんどん張ってきて、冷や汗をかきよくなる。」

「腹部がさし込むよう

な激痛に襲われる前に、間欠性の痛みがあります。こつこつという前触れがあるので、何か大きな病気です。手術態勢の整っている病院へ、タクシーでも救急車ででも、すぐに運んでもらうべきです。

なかには我慢強い人もいるが、この場合の我慢は、消して得策ではない。

腹膜炎

腸閉塞をほうっておくと腸が破れた穿孔(せんこう)性の腹膜炎を起こしてしまうからである。「腹膜炎は腸閉塞から起こる病気ではありません。虫垂炎で虫垂が破れて起きるケースもありますし、大腸憩室が破れてのケースもあります。もちろん、癌が原因となっていて腹膜炎もあります。とにかく、腹膜炎の場合は緊急を要します。すぐに救急車で救命救急センターへ。」

胃・十二指腸潰瘍の進行

大腸ではなく、胃・十二指腸潰瘍が進行して穴があき、急性腹膜炎で救命救急センターに運ばれる人も多い。

胃・十二指腸潰瘍の人が、久しぶりに休暇を取り、ストレスから解放されて海釣りを楽しんでいたら、穿孔性の腹膜炎はこのようになり起こりそうにもないシチュエーションでも、突然に起こってしまう。それだけに、胃・十二指腸潰瘍の人は、病気を甘く考えず、しっかりと治療に取り組むべきだろう。

腸重積症

また、腸閉塞と違って、ときには腸重積症ということもある。

「風船の口部が外側に巻いているように、腸が腸の中に入り込んでしまった状態で、小腸から盲腸に入る回盲部でよく起こります。子供に多いものの、大人でもあります。大人の場合には、良性よりも悪性疾患。つまり、癌があつて腸重積になることがあるので、それを考えて治療を行なうべきです。」

腸重積症の場合、痛みは限局して、絞るような痛みである。

腹部全体にわたる痛み

「腹部全体にわたって激痛が、それも激痛に変わった。医師が考え代表的な病名は腸閉塞(へいそく)です」と、癌研究会付属病院(東京・豊島区)外科の大田博成前部長(54)は、まず腸閉塞を挙げた。

「腸が何らかの形で詰まってしまふ病気で、腸が詰まることも心臓が詰まるように、ため、腹筋がとんとん振って、冷や汗をかくようになります。」

「腹部が膨らむような痛みに変わると、腸が詰まる前に、腸が破れて、腸の中に入り込んでしまった状態です。小腸から盲腸に入る回盲部でよく起こります。子供に多いもの、大人でもあります。大人の場合には、良性よりも悪性疾患。つまり、癌があつて腸重積になることがあるので、それを考えて治療を行なうべきです。」

腸閉塞とは腸が詰まる病気で、腸が詰まることで、腸が破れて、腸の中に入り込んでしまった状態です。小腸から盲腸に入る回盲部でよく起こります。子供に多いもの、大人でもあります。大人の場合には、良性よりも悪性疾患。つまり、癌があつて腸重積になることがあるので、それを考えて治療を行なうべきです。

腸閉塞とは腸が詰まる病気で、腸が詰まることで、腸が破れて、腸の中に入り込んでしまった状態です。小腸から盲腸に入る回盲部でよく起こります。子供に多いもの、大人でもあります。大人の場合には、良性よりも悪性疾患。つまり、癌があつて腸重積になることがあるので、それを考えて治療を行なうべきです。

腸閉塞とは腸が詰まる病気で、腸が詰まることで、腸が破れて、腸の中に入り込んでしまった状態です。小腸から盲腸に入る回盲部でよく起こります。子供に多いもの、大人でもあります。大人の場合には、良性よりも悪性疾患。つまり、癌があつて腸重積になることがあるので、それを考えて治療を行なうべきです。

本シリーズは、日刊スポーツ新聞社の「健康連載(医学ジャーナリスト・松井宏夫著)」から主に引用いたしました。同誌には、健康に関する記事が連載されています。関心がある方は一読をお薦めいたします。

SOD様食品の開発者・丹羽勲負博士のプロフィール

昭和37年、京都大学医学部卒業。医学博士。丹羽免疫研究所所長。土佐清水病院院長。活性酸素とSODの研究を臨床家として国内はもちろん、世界的にも最も早くから(1970年代から)手掛け、この分野の研究の世界的権威。SODなどの生体防御の研究論文が“Blood”を始めとする著名な英文国際医学雑誌に続けて発表され、その数は50編を超えます。国際医学専門誌(Biochemical Pharmacology)への投稿論文の審査員もしています。



国内では、ベーチェット病やリウマチ、アトピー性皮膚炎の治療・研究に長年従事し、多くの難病の原因を活性酸素の異常から解明し、これら難病の治療に関して、SOD様作用食品等の低分子抗酸化剤や抗癌剤を自然の植物・穀物より開発し、大きな治療効果を上げています。

一般向けの著書に「激増 活性酸素が死を招く」(日本テレビ刊)、「クスリで病気は治らない」(みき書房刊)、「アトピーがぐんぐん良くなる本」(日本テレビ刊)などがあり、大きな反響を得ています。



命と健康のために SODロイヤル

SODロイヤル(丹羽SOD様食品)は、丹羽博士が長年をかけて開発した、天然の植物・種子を素材にした天然製剤で、副作用などの心配は皆無の健康食品です。

国際製法特許取得

用語の解説

胆石の治療

胆石の治療としては、溶解療法、破碎療法、体外衝撃波結石破碎療法、腹腔（ふくこう）鏡下手術療法、手術療法などがある。

一九九〇年（平二）以降、腹部に4カ所穴をあけ、カメラや手術器具をいれて胆のうを切除する腹腔鏡下手術、いわゆるおなかを切らない手術の進歩が目覚ましく、今日では開腹して行なう手術は激減している。

腸閉塞

腸閉塞には、機械的腸閉塞と機能的腸閉塞がある。

機械的腸閉塞は腸が外から締めつけられた場合や、腸壁の変化などが原因となる。ヘルニア、癒着、腸捻転（ねんてん）、狭窄（きょうさく）、腫瘍、異物などである。

機能的腸閉塞は、腸管にこれといった原因がなく起こる腸閉塞で、けいれん性やまひ性などがある。いずれの場合も強い腹痛のほかに吐き気、嘔吐（おつと）などがある。

丹羽博士の著書

丹羽博士の、一般向けの著書の一部を紹介いたします。活性酸素と病気、SODについて、平易に書かれています。

- 「激増 活性酸素が死を招く」(日本テレビ放送網(株))
- 「アトピーがぐんぐん良くなる本」(日本テレビ放送網(株))
- 「アトピー99%治療の証明」(日本テレビ放送網(株))
- 「丹羽博士の正しい『アトピー』の知識」(廣済堂(株))
- 「SOD製剤が癌治療に革命を起こす」(廣済堂(株))
- 「クスリで病気は治らない」(みき書房(株))
- 「活性酸素で死なないための食事学」(廣済堂(株))



バックナンバーについて
 日本SOD研究会では、これまでに発行した「Q&A」のバックナンバーを用意しています。様々な疾患と活性酸素の関係について掲載しています。
 ご要望の方は、最寄りの取扱店または、日本SOD研究会
 までご連絡ください。

SOD-IST (ソディスト) は丹羽療法における疾病治療・予防を目的とした患者さんや愛用者の方々の体験から生まれました。まさに治療が偶然見つけた素肌への贈り物です。SOD様ナチュラルフーズ・SOD様ナチュラルクリーム・天然の低刺激粹練石鹸の組合せにより“体の内部・外部から美を養う”をコンセプトに誕生したのが丹羽SOD美容法[SOD-IST]です。



[当商品には合成着色料・合成保存料は使用しておりません]

お問い合わせ先

製造・発売元
 株式会社フジ流通システム
 埼玉県富士見市鶴馬3489-1